

# 外国語活動において、

## 見通しをもって楽しくコミュニケーションを図る児童の育成

—課題との出会わせ方の工夫と「めあてステップ」の作成と活用—

### 研究のねらい

令和4年度 前橋特別研修研究員  
前橋市立桂萱東小学校 三輪 美鈴

外国語活動において、見通しをもって楽しくコミュニケーションを図る児童を育成するために、導入における課題との出会わせ方の工夫と、「めあてステップ」の作成と活用を行うことの有効性を明らかにする。

#### 【児童の実態】

- ・互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動に関して消極的な児童が多い。
- ・英語を用いたゲームは好きだが、英語を話すのは好きではないと感じている。
- ・英語の必要性は感じているものの、苦手意識が強く、「言っていることが分からない」「発音が難しい」「やる目的が分からない」と感じている。

#### 【指導上の課題】

- ・教師主導により、単元の課題や本時のめあてを設定してしまっている。
- ・単元構想の段階において、単元の課題を明確にしていない。
- ・単元や毎時間のめあて、目的や場面、状況の設定が曖昧である。

### 実践内容

【外国語活動】 第4学年

Unit7「What do you want?」【ほしいものは何かな?】(Let's Try!2)



### 【手立て1】 課題との出会わせ方の工夫

単元の「つかむ」過程の導入において、児童が興味・関心をもてる身近な題材を取り上げた活動を提示するとともに、児童の思いや気付きを基に単元のゴールを設定することで見通しをもって学習に取り組めるようにした。

## 課題との出会わせ方の工夫

### 身近な題材を取り上げたモデル会話



### 学習に必要な語句や表現を知る

欲しいものと言っていた!

私も、チョコレートが好き!

気づき

思い

意欲

パフェとピザを作っていたよ!

何の話か分かったよ!

### 単元のゴール設定



見通し

目的

スペシャルランチを作って紹介しよう

### 【手立て2】 「めあてステップ」の作成と活用

毎時間のめあてを児童と共に設定し、時数や毎時間のめあてを可視化した「めあてステップ」を作成・掲示し、学習内容の確認や学習の振り返りに活用することで、必要感をもって学習に取り組めるようにした。

## 「めあてステップ」の作成

### 毎時間のめあて設定

教師の言葉がけ

前時の振り返りと児童の思い

前回、どんな勉強をしたかな?

果物と野菜の英語を覚えた!

今日は何を学べたいかな?

名前を覚えたから、世界で一つだけのパフェを作りたい

パフェを作るために買い物をしたい!

興味・関心

必要感

意欲

ウキウキ

自分の好きなものを集めたいな!

2時間目のめあて  
欲しいものの言い方を覚えてパフェを作ろう

## 「めあてステップ」の活用

### 言語活動

### 振り返り

めあてを意識

I want cherries, please.

必要感

めあては達成できたかな?

活動に楽しく参加することができましたか。

英語を運んで話したり聞いたりできましたか。

今日めあての活動ができましたか。

What do you want?だよ

目的意識

How many?

活動に楽しく参加することができましたか。	😊	😊	😊
英語を運んで話したり聞いたりできましたか。	😊	😊	😊
今日めあての活動ができましたか。	😊	😊	😊

次時への意欲

pod job!

前は言方が言えなかったけど、友達に教えてもらって、今は言えるようになった。おめでとう!

## 成果

- 課題との出会わせ方を工夫したことで、興味・関心をもち、目的意識をもって楽しく外国語活動に取り組む児童が増えた。
- 「めあてステップ」を作成し活用したことで、児童一人一人が必要感をもって学習に取り組むようになった。

## 課題

- ◇振り返りを行う際に、児童がより学習の成果を実感できるように、どのようなことについて振り返るのかといった明確な観点を示す必要がある。
- ◇3・4学年の2年間を見通した外国語活動の在り方を探ったり、高学年の外国語に繋がる指導方法を学校全体で共有したりしていく必要がある。